

中間公民館 自然再発見

**立花山 クスノキの原生林と市街の展望を楽しむ** (2017. 11. 24)

立花山 (367m) は福岡市東区、新宮町、久山町の境界にあつて、古くから海路、陸路の目印とされていました。立花城があつた山頂には石垣や古井戸が残っており、山麓には城主立花道雪の墓がある梅岳寺、戦勝を祈願した六所宮などがあります。

当日は天気予報で雨40%と出ており、歴史資料館巡りも考えましたが、全員揃つたところで意見を聞くと、「登りましょう」即決でした。



(立花城の歴史に聞き入る皆さん)



(大楠の近くバクチノキの赤肌にビックリ)

今回は原生林での大クス(樹齢約300年H30m、幹周約8m)国の特別天然記念物がメインですから、資料もクスノキ科を主体に作成し、六所神社境内のカゴノキ(県指定天然記念物)、タブノキ、ホソバタブ、バリバリノキ、シロダモ、ヤブニッケイ、ハマビワなどの観察をし、道そばに咲くヨメナに目が留まりノコンギクとの相違に花が咲きました。

(バリバリノキなんてあるの?これです)

(大楠にも会えたい満足)



山頂からの眺望は残念ながら、雨雲の広がり、世界遺産に登録された沖ノ島も見えず、眺望はもうひとつでしたが、山道も乾いており事故なく終えることができました。

(担当=木村、宮本、西岡記)